

文化の違いを超えよう！

Open Repositories 2007報告+ α

村上祐子

国立情報学研究所

注目の新機能

- DSpace1.4 Manakin機能 (HP, Texas Digital Library)
 - インタフェースのカスタマイズが容易に
 - 他サイトとのマッシュアップも可能:例はGIS(Yahoo! Map)
 - 日本語化は必要? (言語指定可能:例なし)

注目の動向:OAI-ORE

- Open access initiative-object reuse and exchange
- オープンデータ交換標準プロトコル策定の動き
- データベース・機関リポジトリとの連携に必須
- 次の会議は5月
- いつ標準が提出されるかは言及なし
- <http://www.openarchives.org/ore/>

興味深い構築例

- (ダーク)アーカイブとリポジトリ併用
 - 各種サービス提供のために
- Georgia Tech U. 出版、研究支援
- Ball State U. Digital Media Repository
(狭義のIRはまだない)
 - 町のテレビ・ラジオ番組・フリーの新聞も搭載
 - ContentDM (OCLC)+自力開発プラグインでマルチレイヤー認証

研究者のニーズをくみ上げる

- 化学情報学 (Indiana)
 - 既存のマッシュアップ: 既存の物質コードで類似検索など
 - Want: 文献情報・特許情報との統合
- Open Data Repository (Purdue)
 - 担当図書館員1名を研究室に常駐させた
 - さらに要調査！（今回は担当者不在）